

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月23日(月)	試合番号	B1	回戦	1回戦
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ Bコート		

Aチーム			Bチーム		
昭和学院 (千葉)			隼人 (鹿児島)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	16	前半	6	11	
	16	後半	5		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評		
<p>緊張感が漂う女子1回戦、隼人のスローオフで始まる。応援の声に限られ、選手たちの声が響き渡る会場の中、最初に得点を決めたのは昭和学院。ポストプレーがペナルティーを誘い、7番が落ちついて先取点を決める。隼人も4番のサイドシュート、ポストシュートで追いかけるが、昭和学院のディフェンスの前になかなか攻め手を欠く。その間、昭和学院は7番のロングシュートを中心に、ポスト、サイド、速攻、カットインなど多彩な攻撃を繰り広げ、10分を過ぎて7対2とリードする。流れを止めたい隼人は、前半10分過ぎにGKの好セーブから3番のサイドシュートが決まり反撃に出るが、なかなか連続得点をあげることができない。昭和学院が9点目から3連続得点をあげた17分過ぎ、隼人はたまらずタイムアウト。立て直しを図るが、タイムアウト後の攻撃が実らず、逆に昭和学院の速い攻撃からずらされ、14番のサイドに得点を決められてしまう。前半20分過ぎ、隼人も意地を見せ9番のミドル、8番のロングで追いかけるが、昭和学院も15番の速攻で突き放し、前半を16対6と昭和学院のリードで終わる。後半反撃に出たい隼人だが、昭和学院の攻撃を守り切れず、8番にカットインからシュートを決められ、先制点を許してしまう。それでも後半8分過ぎには、隼人の2番がナイスディフェンスで昭和学院の速攻を食い止め、その後も手渡しからのフォーメーションなどで懸命に追いつがる。しかし、昭和学院もGKを中心とした堅守から最後まで攻撃の手を緩めず、終始圧倒した昭和学院が32対11で初戦を制した。</p>		
<table border="1"> <tr> <td>記載者名</td> <td>寺田 和成</td> </tr> </table>	記載者名	寺田 和成
記載者名	寺田 和成	